

おだ かわ のぞみ
小田川望さん

九州から発信するライフスタイルマガジン
『ローカルメディア3』事務局長
キャリア教育コーディネーター

PROFILE

1971年仙台市生まれ。夫の転勤に伴い、2009年から熊本市在住。夫と2人の子どもと4人暮らし。



九州から発信する
ライフスタイルマガジンを発行
持続可能な暮らしを発信

ローカルメディア3

熊本県阿蘇郡高森町高森 1766
E-mail: localmedia3.net@gmail.com
URL: <http://www.localmedia3.net/>
Facebook
<https://www.facebook.com/localmedia3>

輝きの軌跡

小田川望さんの
キャリアストーリー

2015年	2014年	2011年	2009年	2003年	1995年	1994年
2号目発行予定	『ローカルメディア3 volume 1』を発行	「熊本被災者支援プロジェクト」立ち上げ	夫の転勤により熊本へ	結婚。東北大学電気通信研究所勤務	通信会社に就職。その後、測定器メーカーなどに勤める	東北大学大学院修士課程修了。専門は電子工学

取材担当
熊本学園大学2年
井上佳奈

一どのような活動をされていますか。
小田川 東日本大震災以降、「熊本被災者支援プロジェクト」の立ち上げにかかわり、熊本へ避難移住した人々の交流会や就業支援を行ってきました。3年たって「持続可能な暮らしにシフトできるものを、みんなで作っていきたい!」と未来について考えるようになりました。そこで発行したのが九州から発信するライフスタイルマガジン『ローカルメディア3』です。持続可能な暮らしを模索、実行している人々を発信することで、避難移住者、その受け入れを行う地元の人々、支援して下さる企業をネットワークしています。
一なぜ、避難移住者の人々を支援されていたのですか。

小田川 私自身、夫の転勤に伴い熊本へ転居し、身寄りが無い中で生活や子育てに、とても不安を抱えていたのを覚えています。そんなときに子育てサークルに出会い、そういった場があることにとても救われました。だからこそ震災後、自分にできることをと考え、避難移住者の人々の交流の場を設けました。
一情報誌発行に感じるやりがいは。
小田川 この本は、食や農業、自然エネルギーなど、さまざまな分野で

活躍している九州の人々から協賛をいただいています。皆さん「良いものを世に出したい」という強い思いや誇りがあり、人とつながって前進しようと日々励まれています。そういった熱い思いに触れる機会が増え、とてもいい刺激を受けていますし、その出会いが何よりの喜びです。
一今後の目標を教えてください。
小田川 さまざまな協賛団体とかかわる中で、時には同じ目標を持つのに互いに協力できず、大きな力にならない現状があることも感じてきました。これを克服するには、今持っている枠を10センチ広げる必要があります。一つひとつが枠を広げることで徐々に大きくなり、今まで見えなかったつながりができます。現在の活動を通して、このつながりを探し、伝えていきたいです。

人と人の心の壁を自らの力で壊し、人とのつながりの大切さを、ぜひ今から習得してください。

